

ヒダレポ

能登半島地震の現状を伝える写真を撮影し、写真展を開催するのに補助金を使用しました。

『1 活動目的』

写真展を開催し、能登の現状を伝え募金を集める。
高山市民の防災意識を高める。

『2 活動報告』

●令和6年6月8日 能登半島に被災状況の撮影

(輪島朝市周辺・町野町・鹿磯漁港)

●令和6年7月27日 能登半島にボランティア風景や祭の撮影

(穴水町ボランティアセンター・ボラマチ亭・能登島向田の火祭り)

○令和6年8月23日～令和6年8月27日 シマヤラクール飛騨高山店

○令和6年9月6日～令和6年9月10日 駿河屋アスモ店

それぞれ、国府町まちづくり協議会・花里まちづくり協議会とコラボし、
防災展示も併せて行った。

『募金集計』

シマヤラクール飛騨高山店 33475円

駿河屋アスモ店 23438円 合計56913円

○令和6年11月10日・11日 村半

今まで展示した写真に加え、
展示していなかった写真のスライドショーや向田の火祭りの映像を上映。

○令和6年10月12日・13日 令和6年高山市国府地区 通算65回 文化展

国府町まちづくり協議会からの依頼により展示参加

○令和6年10月30日～令和6年11月3日 一之宮町文化祭

出展予定者の坂本様のご依頼により展示参加



『3 補助金の使用先』

- ・写真やブック印刷代 消耗品
- ・チラシやポスター 広告費
- ・展示用有孔ボードレンタル代 賃借料

『4 今後の活動』

9月に豪雨災害も同地区で発生し、復興への道はさらに遠くなったと感じます。

今後も定期的に同地区の復興状況を伝える活動をするとともに、
高山市民への防災意識の向上を高める活動をしていきたいです。

また能登での活動に限らず、写真を通じてどんなことができるかを追求していきたいです。

『5 若者活動支援事業補助金について』

若者の主体的な活動を支援し、その成長を促進する上で、非常に重要な役割を果たしていると感じます。

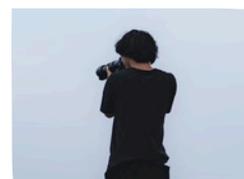
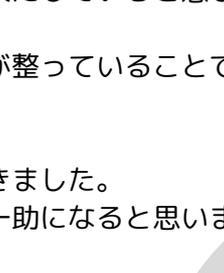
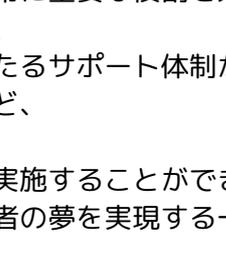
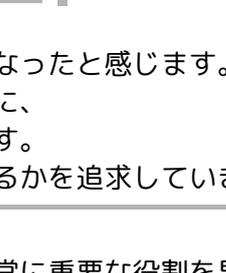
この制度の特筆すべき点は、単なる金銭的な支援に留まらず、

若者の「やりたい」という意欲を力強く後押しする多岐にわたるサポート体制が整っていることで、
補助金の交付に加えて、アドバイスや情報提供、広報支援など、

自分たちの力だけでは実行できないことが多々ありました。

これらのサポートを通じて、企画力や実行力を高め、事業を実施することができました。

若者活動支援事業補助金は、今後も継続され、より多くの若者の夢を実現する一助になると思います。



ヒダレポ 窓口

Instagram @hidarepo

Gmail hidarepo@gmail.com